
令和4年度（第70期）

事業報告

公益財団法人 京都健康管理研究会

公益財団法人京都健康管理研究会（以下、本財団とする）は、令和4年度、本財団定款に掲げる「公益性を重んじ、難治性疾患や他の疾病に関する調査・研究の成果を広く社会に啓発・普及させるべく、医学・医療を中心とする学術分野に関し、集会・書籍等で必要な情報提供する事業を行い、ならびに、これらに係る人材育成及び活動を助成する事業を実施することによって、国民の健康保持、増進に寄与貢献することを目的とする」を達成するために事業を実施・推進している。

令和5年3月、本財団泉孝英理事長が在任中に逝去され、それに伴い長井苑子理事を代表理事（理事長）に選任の上、事業を遂行した。この他に医療相談事業、医療教育講習事業を行い、広く「健康の輪」を広げるべく事業を展開した。

以上の状況を踏まえ、本財団の令和4年度事業について報告する。

本財団が行った公益事業は、

1. 啓発・普及事業

難治性疾患の病気に対する理解と、健康増進意識の普及・拡大を図るため、以下の啓発・普及活動を積極的に進めた。

1) 本財団広報誌（健康塾通信）を年4回発刊する計画に従い、

令和4年4月15日（通巻第17号）、令和4年7月15日（通巻第18号）、令和4年10月15日（通巻第19号）、令和5年1月15日（通巻第20号）を刊行した。

2) 一般市民向講座の開催（大阪よみうり文化センター協賛）

① 「市民健康講座：みんなで学ぶ健康学」

令和4年7月3日 メルパルク京都7階

講師：上野 盛夫先生（京都府立医科大学眼科学講座 講師）

演題：目の病気とその治療

参加者：101名

② 「市民健康講座：みんなで学ぶ健康学」

令和4年11月13日 TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター8階ホール

講師：長井 苑子先生（一般財団法人 大和松寿会中央診療所 所長）

演題：高齢者の慢性の咳にまつわる話

— 多様な原因、診断、適切な治療、最新の治療 —

参加者：113名

3) 難病患者団体活動費助成

難病患者団体活動費の助成を行っている。

本助成は、令和3年11月1日から12月末日までの期間、令和4年度の公募を行った。その期間に応募のあった3件について、令和4年1月12日に難病患者団体活動費助成選考委員会を開催、令和4年度の難病団体活動費に対する助成の審議を行い、以下の団体の助成を理事長が決定し、令和4年4月1日以降の希望日に執行した。

(1) NPO法人京都難病連 50周年記念誌「京都難病連50年のあゆみ」
発刊費用（25万円）

(2) NPO法人京都難病支援パッションネ 難病カフェ（年4回開催費用）
（17万円）

(3) 一般社団法人全国筋無力症友の会 50周年記念誌「重症筋無力症ハンドブック」発刊費用（30万円）

上記以外に、令和4年10月27日に個別の申請があり、本財団難病患者団体助成細則に従い、以下の団体に対し助成を行った。

(4) 京都わらび会（稀少難病者・児と家族の会） 難病カフェ開催費用
（10万円）

従って、令和4年度には、上記4件、計82万円の助成を各団体の活動に合わせて執行した。

2. 研究・奨学助成事業

呼吸器系をはじめとして、各領域での難治性疾患の研究・診療を志す研究者や医師等の若手人材の育成が必須のため、研究費、学会・講演会等の運営費、また、海外留学費用や専門知識の習得あるいは意見交換等を目的とする国際学会等への参加費用助成等の事業を実施した。

令和4年度の助成は、前年に引き続き本財団ホームページに各助成事業の募集要項を掲載、令和3年11月1日から12月末日までの期間、公募した。期間中、多数の応募があり、令和4年1月15日に選考委員会を開催、その審議結果に基づき、本財団理事長が助成を決定した。選考された申請については、本年度令和4年4月1日以降の希望日に執行した。

以下に、令和4年度事業の各助成選考概況並びに選考結果を記載する。

1) 研究費助成

公募による応募は、定数 6 件に対し 21 件の助成申請があった。
選考委員会で厳正に審議を行った結果に基づき、理事長が定数 6 件より 3 件多い
以下 9 件 (各 100 万円)、計 900 万円の研究助成を決定した。定数枠超過については、
理事会に付議し、承認され、令和 4 年 4 月以降に執行した。

- (1) 岡村 拓郎 (京都府立医科大学内分泌代謝内科)
「自己反応性 T 細胞を標的とした I 型糖尿病発症予防法の開発」
- (2) 山下 侑吾 (京都大学医学部附属病院循環器内科)
「日本での新型コロナウイルス感染症の実態を調査し抗凝固療法に
よる最適な予防法を検討する研究」
- (3) 日和 良介 (京都大学医学部附属病院免疫膠原病内科)
「核内受容体 NR4A の低分子アゴニストによるループモデルマウス
の治療効果についての研究」
- (4) 河井 利之 (京都大学医学部附属病院整形外科)
「Microengineering 技術を用いた人工血管付人工骨開発の試み」
- (5) 長峯 理子 (京都府立医科大学人体病理学)
「治療選択までを見越した新たな子宮体癌診断法の開発～多重染色法
を用いて～」
- (6) 池添 浩平 (京都大学医学部附属病院呼吸器内科)
「間質性肺炎疾患における抗炎症療法の効果予測」
- (7) 高橋 央 (京都府立医科大学附属北部医療センター神経内科)
「京都府丹後地域の中高齢者を対象とした認知機能低下および老化の
要因を探るための縦断的疫学研究 (丹後活き生き長寿研究)」
- (8) 楊 知明 (京都大学肝胆膵・移植外科)
「肝内胆管癌におけるフェロトシス誘導による抗腫瘍効果の検証
および関連バイオマーカーの探索」
- (9) 川口 展子 (京都大学医学部附属病院腫瘍内科)
「化学療法誘発性末梢神経障害予防を目的とした弾性圧迫グローブ・
ストッキングによる圧迫療法の開発及び臨床研究」

2) 海外留学助成

海外留学助成は、令和 4 年度は 2 件の枠に対し 7 件の申請があり、選考委員会
にて厳正に審議を行ない、その結果に基づき、理事長が定数 2 件のところ、以下 4
件の海外留学助成を決定した。研究助成と同様に定数枠超過について理事会に付
議し、承認され、令和 4 年 4 月以降出国日が確定次第執行した。

- (1) 糸井 素啓 (京都府立医科大学眼科学教室) 2 年間
豪州 The University of New South Wales (UNSW)

- (2) 安田 怜（京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学）2年間
米国テキサス・Baylor College of Medicine
- (3) 日下部 治郎（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系）2年間
米国クリーブランド・Cleveland Clinic Foundation
- (4) 八木信一郎（京都府立医科大学大学院医学研究科循環器内科学）2年間
米国カリフォルニア・Cedars-Sinai Medical Center

なお、令和4年度は、上記令和4年度分に加え、令和3年度に執行の2件の2年目分を含め、令和4年度の実執行は計6件（1件120万円）総額720万円を助成することとなった。

3) 国際学会等への渡航費・参加費助成

海外で開催される国際学会、国際学術会議等に参加するために必要な経費の助成1件の申請があったが、新型コロナ蔓延の影響で選考委員会開催日前に申請が取り下げられた。

4) 学会・講演会等の運営助成

学会・講演会等の開催・運営費の助成は、令和4年度に以下4件の申請があり、逐次、助成細則に基づき選考委員会で審議し、その結果に基づき理事長が決定した。令和4年度は、以下の4件の活動に対し計120万円を助成した。

- (1) NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 夏季学術集会（30万円）
令和4年7月16日 京都烏丸コンベンションホール
(Webハイブリット開催)
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 理事長 福井 基成
(田附興風会医学研究所 北野病院)
- (2) 第158回びまん性肺疾患研究会（20万円）
令和4年8月27日 TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター
(Web形式で開催)
びまん性肺疾患研究会 代表世話人 井上 義一
(独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター)
- (3) 第8回LMC研究集会（20万円）
令和4年9月10日 京都リサーチパーク東地区1号館4階
サイエンスホール (Webハイブリット開催)
NPO法人活動法人地域医療・介護研究会JAPAN 会長 邊見公雄
- (4) NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構第18回総会（50万円）
令和5年2月4日 ウェスティン都京都ホテル (Webハイブリット開催)
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 理事長 福井 基成
(田附興風会医学研究所 北野病院)

5) 出版補助

出版補助を1件行った。

- ・京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構編 (91万円)

「みんなでつなぐ医療の未来－臨床研究・治験を考える－」令和5年3月発刊

3. 収益事業

本財団運営に資する以下の収益事業を行った。(相談料等の詳細は医療相談規約第4条)

- 1) 医療相談事業 11件 553,000円
 - 2) 医療教育講習事業 今期は無かった。
- その他、書籍販売は7件 33,000円であった。

4. その他の事業達成に必要な事項

先に掲げた本財団の令和4年度事業を遂行、達成のため、また、本財団の円滑な運営のために以下の事項を進めた。

- 1) 本財団の公益性を広く知らしめるため、令和3年度事業年報の作成を進めた。
- 2) 公益財団法人の20年会計基準に準拠した会計処理を進めた。
- 3) 理事会・評議員会等の開催及び京都府へ公益法人としての報告書類提出等は以下の通り行った。

① 理事会 (令和4年5月20日開催)

審議事項:

- ・令和3年度(第69期)事業報告並びに決算報告に関する件(承認)
- ・海外留学助成の一部変更(延長)の件(承認)

② 定時評議員会 (令和4年6月3日 書面開催)

審議事項:

- ・令和3年度(第69期)事業報告並びに決算報告に関する件(承認)

京都府: 令和3年度事業報告書提出(令和4年6月28日)

③ 近藤久人評議員から辞任届受領(令和4年6月28日)

④ 京都法務局: 評議員の抹消登記(令和4年7月12日)

⑤ 京都府: 評議員変更届提出(令和4年8月4日)

⑥ 理事会 (令和4年8月23日 書面開催)

審議事項:

- ・決算科目変更の件(承認)

⑦ 理事会 (令和4年9月13日 書面開催)

審議事項:

- ・代表理事代行者の選任の件(承認)

⑧ 理事会（令和4年12月2日開催）

審議事項：

- ・令和4年度上期事業報告並びに決算報告承認の件（承認）
- ・助成金額50万円超に関し承認を求める件（承認）
- ・特定費用準備資金取扱規程策定並びに定款一部改訂の件（承認）

⑨ 難病患者団体活動助成選考委員会（令和5年1月12日開催）

令和5年度難病患者団体活動助成につき難病患者団体活動助成細則に従い選考を行った。

- ・年間10件に対し、2件の申請があり、全2件を助成可とした。

（難病患者団体活動助成細則に基づき理事長が上記選考を承認）

⑩ 研究・奨学助成選考委員会（令和5年1月14日開催）

令和5年度研究助成及び海外留学助成につき研究・奨学助成細則に従い選考を行った。

- ・研究助成年間6件に対し24件の応募があり、6件を選考した。
- ・海外留学助成年間2件に対し13件の応募があり、2件を選考した。
- ・国際学会等参加費助成年間20件に対し6件の応募があり、全6件を助成可とした。

（研究・奨学助成細則に基づき理事長が上記選考を承認）

⑪ 理事会（令和5年3月24日開催）

審議事項：

- ・令和5年度（第71期）事業計画及び予算の件（承認）
- ・令和5年度助成額50万円超に関し承認を求める件（承認）
- ・研究・奨学助成細則及び難病患者団体活動助成細則条文一部変更の件（承認）
- ・令和5年定時評議員会開催日を令和5年6月24日とする件（承認）
- ・定款一部変更を評議員会に提案する件（承認）
- ・代表理事変更の件（令和5年3月23日泉孝英理事長が逝去され、それに伴い代表理事として長井苑子理事を選任：承認）

⑫ 京都府へ令和5年度事業計画並びに予算書を提出（令和5年3月28日）

以 上